

# 藤岡小学校便り わらたけ

いきいき すくすく 元気な わらびっ子 No. 16

2019年12月25日(水)

四万十市立藤岡小学校

校長室から (文責 石川)

## 2 学期終業式を行いました

いよいよ今日で、81日間の2学期も終わりを迎えました。

保小中運動会、稲刈り、陸上記録会、防災植物教室、史跡巡り、音楽祭、学習発表会、収穫祭、マラソン大会、木工教室、様々な交流会などたくさんの行事がありました。図画やポスター、硬筆、毛筆、標語、作文、読書感想文等のコンクールや作品展(町展、郡展、県展)への出品など、作品づくりにも大忙しでした。また、地域から多くの講師の方々に来ていただき、たくさんを学びました。

そして、日々の授業をこつこつと頑張ってきました。授業の中で一人ひとりの児童が、『めあてと見通し』を持って学習し、仲間たちと共に学校生活を送り、今、成長した姿を見ることができます。終業式でも、4か月間仲良く力を合わせ努力してきたことを、心から褒めました。

保護者・地域の皆様には、学校行事、参観日などにおいてご協力頂き有難うございました。いつも多くの参加を得て、温かく見守っていただき、お礼を申し上げます。

## 3 学期もよろしくお願ひ致します。

皆様、佳いお年をお迎えください。



## 「通知表」を見て、親子で話して

### ください!

#### ① 『通知表』は励ましの材料に

今日、通知表を持って帰ります。1学期に比べて頑張った所、もっと努力する所など、各教科・領域の一つひとつの観点について、家族で共に見て話し合ってください。

#### ② 『生活のようす』が大切

「学習のようす」だけではなく、「生活のようす」を大切にしてください。

基本的な生活習慣が身についたり、社会や学校のルールが守れたりしてこそ、学習にも繋がってくるからです。

3 学期に繋がる声かけをお願いします!



## 冬休みの生活

12月26日(木)~1月7日(火)まで、13日間の休みとなります。

年末・年始の慌ただしい中ですが、計画的に過ごしましょう。

#### ○早ね、早起き、朝ごはん

いつまでも寝ていたり、夜遅くまで起きていたり…にならないように、気をつけましょう。規則正しい生活を続けよう。

## ○体を動かそう

寒さに負けないように、外で元気に遊ぼう。テレビやゲームの誘惑に負けないよう、時間を決めて!!

## ○安全・健康に心がける

手洗い、うがい、歯磨きも忘れずに。

自転車の乗り方には、十分に注意を!!ヘルメットを必ず着用しましょう。

## ○むだづかいをしないように

お年玉の使い方は、家族で話し合って。貯金することも覚えてほしいです。金銭感覚を育てる良いチャンスです。

## ○家の仕事をしよう

年末の大掃除は、子どもと一緒にしてください。それとは別に、毎日担当として1仕事以上、家の仕事をさせたいです。家族の一員として大切な学びです。

※ 3学期の始業日(1月8日(水))の持ち物等については、各学級から出る通信で必ず確認をお願いします。忘れ物をしないように気をつけましょう。

※ 1月21日(火)に、1, 2, 3, 6年生はCRT学力検査を行います。冬休み中に出された課題を計画的にすませましょう。

## 楽しい冬休みになりま

すように!



～ 校長室の窓辺から～

## エピソード①

「蔵岡は、仲良くせんといかんがでえ～」

「そうでえ～仲良くせんといかん。」

1年 七彩さんと2年 陽葵さんの大きな声が聞こえます。何かあっても自分たちで考え、声をかけあっているのがわかります。嬉しい言葉です。さすが、わらびっこ。

## エピソード②

「うわあ～きれい、めっちゃきれい。」

この花きれいでえ～ 水がたまって光りよう！」

3年 悠青さんのこれまた大きな声。急いで出てみると、玄関前のサイデリア(という果肉植物です)をホースを持ってかがんで見つめている姿が。水やりをしてくれていて、大発見をしたようです。

子どもならではの素晴らしい感性ですね。

家庭で取り組む

## 「高知の道徳」

高知家の子どもたちの「夢」や「志」の実現に向けて

高知県教育委員会が発行し、県内の小・中学生のいる家庭に配布しています。PTA総会でもお話ししましたように、中学3年生の卒業までは、ご家庭の居間や台所等、すぐ手に取れるところに置いて活用していただく冊子となっています。学校へも時々持って来てもらい活用しています。冬休み、是非一緒に読んでみてください。

(P10～P11より)

## 家庭の力は心のエネルギー

◎家庭で行う7つの取り組み

背中で教える大人の意識と行動!

1. 毎日きちんとあいさつをしよう
  2. 家族と会話をしよう
  3. 家族の一員として役割をもとう
  4. 子どもにがまんを教えよう
  5. 体験の中で子どもをきたえよう
  6. 先人や目上の人を敬う心を育てよう
  7. 人に迷惑をかけたときはきちんと叱ろう
- 《大切な家族とのきずなを 深めよう》